

データサイエンス・ラボ

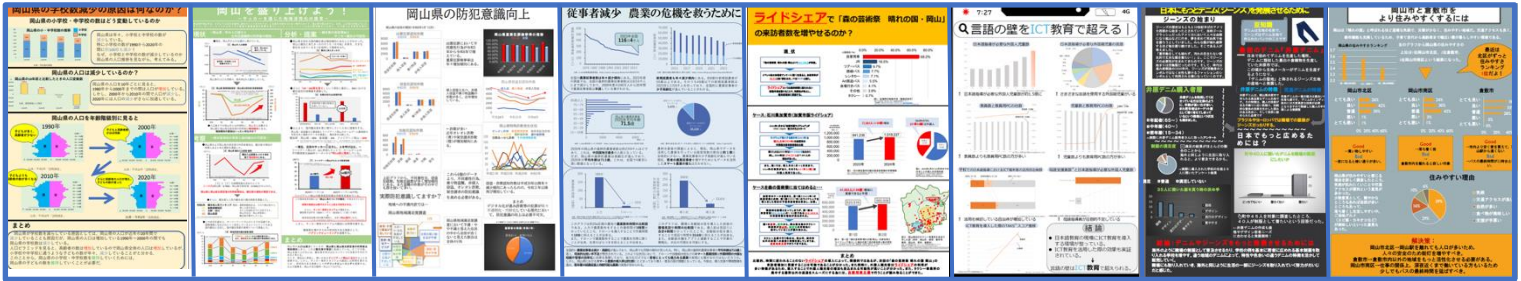
ラボの目的

- ・学外の公開コンペティションに参加し、実データに基づき課題を解決する。
- ・データ分析の手法と説得力のあるストーリー展開を習得し、問題解決力・提案力を向上させる。

活動報告

・岡山県統計グラフコンクール

過去の入賞作品を分析し、メンバー各自でテーマを定め、グラフ・ポスターの作成に取り掛かった。作成後、先生や先輩方、ゼミのメンバーからアドバイスや改善案を頂き、ポスターをさらにブラッシュアップし、より良いポスターに仕上げた。1作品が県の優秀賞に選ばれ、全国コンクールへ出展された。

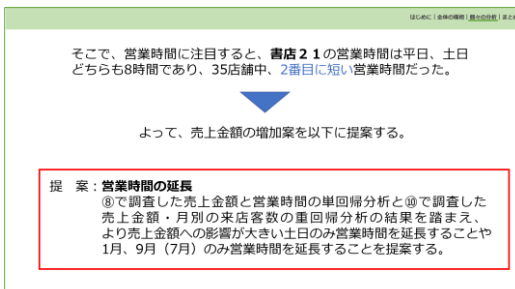
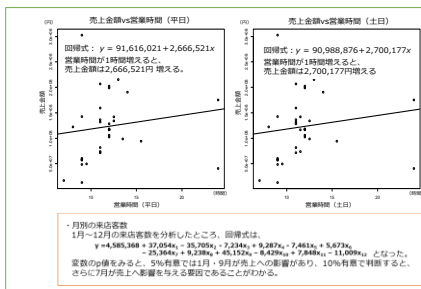
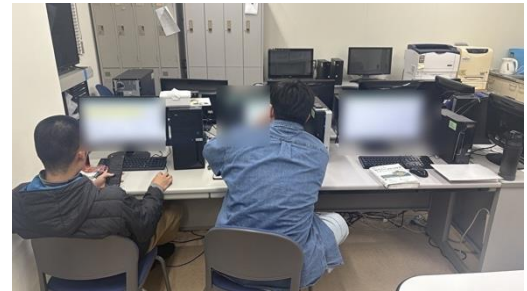
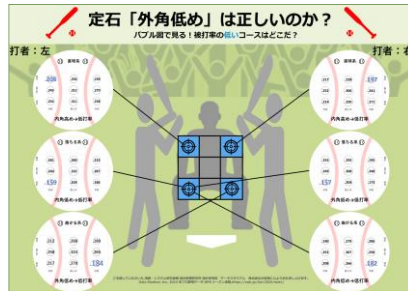
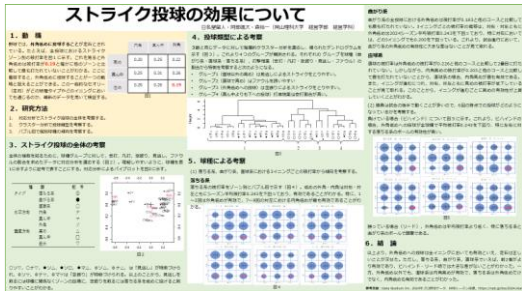


・和歌山県データ活用コンペティション

和歌山県主催の全国コンペティションに参加した。「デジタル社会が進む社会における持続可能な地域づくり」のテーマの下、プロスポーツチームを活用した岡山県県北地域の活性化のための施策「地域丸ごとホテル」を提案した。資料作成では、SNSからアウェイサポーターの動向や空き家率などのさまざまなデータを調査し、まとめた。

・スポーツデータサイエンスコンペティション、データ解析コンペティション

それぞれチームに分かれ、スポーツデータサイエンスコンペティションと経営科学系研究部会連合協議会のデータ解析コンペティションに参加した。どちらのコンペも提供された実際のデータを使用し、野球のプレーデータ、書店の売上データを分析した。それぞれのチームは、被打率を下げることで、書店の売上を増加させることを目的に資料を作成し、発表した。



今後の計画

私たちはこの活動を通して、多くのデータを収集・分析し、データ分析の技術を向上させることができた。また、他大学の発表を拝見し、新たな分析手法や説得力のある発表方法を勉強させて頂き、自分たちの課題を認識することができた。この経験を来年度の卒業研究に活かし、より良い研究を行いたい。

担当教員：森 裕一

学生氏名：小橋 巧実 日名 望留人 影山 凜 早瀬 皓介 梶山 秀人 田淵 偉三 阿部 颯大 田中 杏奈